

## 「上からの知恵」

### ・ヤコブの手紙 3章13～18

しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます。

神の知恵とは、

#### 1、純真

神の知恵は、第一に純真です。

純真でない、悪知恵、人をだましてり、自分の欲のための策略  
自己中心や虚栄心は、神の知恵ではありません。

### ・ヤコブの手紙 1章5～6節

あなたがたのうちで、知恵のある、賢い人はだれでしょうか。その人は、その知恵にふさわしい柔和な行いを、良い生き方によって示しなさい。

しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。

そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。

ねたみや敵対心のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。

### ・ヤコブの手紙 1章15～17節

欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。

愛する兄弟たち。だまされないようにしなさい。

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

#### 2、寛容、温順、平和

柔和な行い謙遜な態度をその生き方で示します。

### ・コリント人への手紙 第一 13章4～7節

愛は寛容であり、愛は親切です。

また人をねたみません。愛は自慢せず、  
高慢になりません。

礼儀に反することをせず、自分の利益を

求めず、怒らず、人のした悪を思わず、  
不正を喜ばずに真理を喜びます。  
すべてをがまんし、すべてを信じ、  
すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。

・箴言 25章6～7節

王の前で横柄ぶってはならない。偉い人のいる所に立ってはいはならない。  
高貴な人の前で下に下げられるよりは、「ここに上って来なさい」と言われるほうがよい  
からだ。あなたがその目を見たことを、

・ルカの福音書 22章26節

だが、あなたがたは、それではいけません。あなたがたの間で一番偉い人は一番年の若い  
者のようになりなさい。また、治める人は仕える人のようでありなさい。

・ローマ人への手紙 12章10節

兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっている  
と思いなさい。

3. あわれみと良い実とに満ち

深い同情心、慈愛の心が豊かに備えられ、  
御霊に満たされています。

・コロサイ人への手紙 3章12～17節

それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、  
慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。  
互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。  
主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。  
そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。  
キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたが  
たも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。  
キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住まわせ、知恵を尽くして互いに教え、  
互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。

あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名に  
よってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。

・ガラテヤ人への手紙 5章19～26節

肉の行いは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、  
偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、  
憤り、党派心、分裂、分派、

ねたみ、醜妬、遊興、そういった類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言うておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。

しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。

キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。

もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。

互いにいどみ合ったり、そねみ合ったりして、虚栄に走ることをないようにしましょう。

#### 4、えこひいきがなく、見せかけがない

えこひいきや、見せかけは偽りです。

そのような偽りを捨て去ります。

・申命記 16章19節

あなたはさばきを曲げてはならない。

人のかたよって見てはならない。

わいろを取ってはならない。

わいろは知恵のある人を盲目にし、正しい人の言い分をゆがめるからである。

・ヤコブの手紙 2章2～5節

あなたがたの会堂に、金の指輪をはめ、りっぱな服装をした人が入って来、またみすぼらしい服装をした貧しい人も入って来たとして。

あなたがたが、りっぱな服装をした人に目を留めて、「あなたは、こちらの良い席におすわりなさい」と言い、貧しい人には、「あなたは、そこで立っていなさい。でなければ、私の足もとにすわりなさい」と言うとするれば、

あなたがたは、自分たちの間で差別を設け、悪い考え方で人をさばく者になったのではありませんか。

よく聞きなさい。愛する兄弟たち。神は、この世の貧しい人たちを選んで信仰に富む者とし、神を愛する者に約束されている御国を相続する者とされたではありませんか

・ヤコブの手紙 1章26～27節

自分は宗教に熱心であると思っても、自分の舌にくつわをかけず、自分の心を欺いているなら、そのような人の宗教はむなしいものです。

父なる神の御前できよく汚れのない宗教は、孤児や、やもめたちが困っているときに世話をし、この世から自分をきよく守ることです。

上からの純真な知恵を求めて生きましょう！

・ヤコブ1章5～6節

あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。

## 神の知恵に関する参考箇所

### ・列王記 第一 3章5～14節

その夜、ギブオンで主は夢のうちにソロモンに現れた。神は仰せられた。「あなたに何を与えようか。願え。」

ソロモンは言った。「あなたは、あなたのしもべ、私の父ダビデに大いなる恵みを施されました。それは、彼が誠実と正義と真心とをもって、あなたの御前を歩んだからです。あなたは、この大いなる恵みを彼のために取っておき、きょう、その王座に着く子を彼にお与えになりました。

わが神、主よ。今、あなたは私の父ダビデに代わって、このしもべを王とされました。しかし、私は小さい子どもで、出入りするすべを知りません。

そのうえ、しもべは、あなたの選んだあなたの民の中におります。しかも、彼らはあまりにも多くて、数えることも調べることもできないほど、おびたしい民です。

善悪を判断してあなたの民をさばくために聞き分ける心をしもべに与えてください。さもなければ、だれに、このおびたしいあなたの民をさばくことができるでしょうか。」

この願い事は主の御心にかなった。ソロモンがこのことを願ったからである。

神は彼に仰せられた。「あなたがこのことを求め、自分のために長寿を求めず、自分のために富を求めず、あなたの敵のいのちをも求めず、むしろ、自分のために正しい訴えを聞き分ける判断力を求めたので、

今、わたしはあなたの言ったとおりにする。見よ。わたしはあなたに知恵の心と判断する心とを与える。あなたの先に、あなたのような者はなかった。また、あなたのあとに、あなたのような者も起こらない。

そのうえ、あなたの願わなかったもの、富と誉れとをあなたに与える。あなたの生きていくかぎり、王たちの中であなたに並ぶ者はひとりもないであろう。

また、あなたの父ダビデが歩んだように、あなたもわたしのおきてと命令を守って、わたしの道を歩むなら、あなたの日を長くしよう。」

### ・列王記 第一 4章30～34節

それでソロモンの知恵は、東のすべての人々の知恵と、エジプト人のすべての知恵とにまさっていた。

彼は、すべての人、すなわち、エズラフ人エタンや、ヘマンや、カルコルや、マホルの子ダルダよりも知恵があった。それで、彼の名声は周辺のすべての国々に広がった。

彼は三千の箴言を語り、彼の歌は一千五首もあった。

彼はレバノンの杉の木から、石垣に生えるヒソプに至るまでの草木について語り、獣や鳥やはうものや魚についても語った。

ソロモンの知恵を聞くために、すべての国の人々や、彼の知恵のうわさを聞いた国のすべての王たちがやって来た。

・列王記 第一 10章1～9節

ときに、シェバの女王が、主の名に関連してソロモンの名声を伝え聞き、難問をもって彼をためそうとして、やって来た。

彼女は、非常に大ぜいの有力者たちを率い、らくだにバルサム油と、非常に多くの金および宝石を載せて、エルサレムにやって来た。彼女はソロモンのところに来ると、心にあったすべてのことを彼に質問した。

ソロモンは、彼女のすべての質問を説き明かした。王がわからなくて、彼女に説き明かせなかったことは何一つなかった。

シェバの女王は、ソロモンのすべての知恵と、彼が建てた宮殿と、

その食卓の料理、列席の家来たち従者たちが仕えている態度とその服装、彼の献酌官たち、および、彼が主の宮でささげた全焼のいけにえを見て、息も止まるばかりであった。

彼女は王に言った。「私が国であなたの事績とあなたの知恵とについて聞き及んでおりましたことはほんとうでした。

実は、私は、自分で来て、自分の目で見るとまでは、そのことを信じなかったのですが、驚いたことに、私にはその半分も知らされていなかったのです。あなたの知恵と繁栄は、私が聞いていたうわさよりはるかにまさっています。

なんとしあわせなことでしょう。あなたにつく人たちは。なんとしあわせなことでしょう。いつもあなたの前に立って、あなたの知恵を聞くことのできる家来たちは。

あなたを喜ばれ、イスラエルの王座にあなたを着かせられたあなたの神、主はほむべきかな。主はイスラエルをとしえに愛しておられるので、あなたを王とし、公正と正義とを行わせられるのです。」

・歴代誌 第二 9章22節

ソロモン王は、富と知恵とにおいて、地上のどの王よりもまさっていた。

・詩篇 111篇10節

主を恐れることは、知恵の初め。これを行う人はみな、良い明察を得る。主の誉れは永遠に堅く立つ。

・箴言 9章1節

知恵は自分の家を建て、七つの柱を据え、

・箴言 26章12節

自分を知恵のある者と思っている人を見ただろう。彼よりも、愚かな者のほうが、まだ望みがある。

・箴言 3章7節

自分を知恵のある者と思うな。主を恐れて、悪から離れよ。

・ヨブ記 12章13節

知恵と力とは神とともにあり、思慮と英知も神のものだ。

・箴言 8章11～14節

知恵は真珠にまさり、どんな喜びも、これには比べられないからだ。

知恵であるわたしは分別を住みかとする。そこには知識と思慮とがある。

主を恐れることは悪を憎むことである。わたしは高ぶりと、おごりと、悪の道と、ねじれたことばを憎む。

摂理とすぐれた知性とはわたしのもの。わたしは分別であって、わたしには力がある。

・ルカの福音書 2章40節

幼子は成長し、強くなり、知恵に満ちていった。神の恵みがその上にあった。

・ルカの福音書 2章52節

イエスはますます知恵が進み、背たけも大きくなり、神と人ともに愛された。

・マルコの福音書 6章1～3節

イエスはそこを去って、郷里に行かれた。弟子たちもついて行った。

安息日になったとき、会堂で教え始められた。それを聞いた多くの人々は驚いて言った。

「この人は、こういうことをどこから得たのでしょうか。この人に与えられた知恵や、この人の手で行われるこのような力あるわざは、いったい何でしょう。

この人は大工ではありませんか。マリヤの子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではありませんか。その妹たちも、私たちとここに住んでいるではありませんか。」こうして彼らはイエスにつまずいた。